

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2026 年度	
				科目コード		D-K03	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キャリアプランニングⅡ			講義・演習		建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	1	石崎 哲也		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
就職活動を意識して、面接時の応対や自己表現、一般常識の習得、論文等の学習を行う。社会人として必要な考え方や行動、そして協調性を持った行動ができる。							
授 業 の 概 要							
1年次の学習に引き続き、建築技術者として必要な資質を高めることを目的として、一般常識、礼儀作法、ビジネス文書等の技能を身につける。さらに、就職活動における自己アピールの訓練や服装などについて考えていく。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題演習、授業態度等により評価する。						課 題	80%
						学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
なし							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
①SPI演習および模擬テスト			4				
②適性検査模擬試験と評価			4				
③小論文演習と模擬試験・評価			4				
④模擬面接			4				
⑤就活ゼミ			14				
その他				関連科目			
				キャリアプランニングⅠ			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度
時間数は45分換算					科目コード	D-K05
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅱ			演習		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	石崎 哲也	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
個人的生活、社会的な団体生活での考え方、協調性を養う。入学式・始業式・終業式・遠足・スポーツフェスティバル・建築見学会など課外でのイベント活動を行い、教員・学生間の信頼を育む。						
授 業 の 概 要						
遠足や建築見学会など課外活動を行う。健全な心身の育成と人格の形成を目的とし、学生相互、および教員とのコミュニケーションを深めるとともに、建築技術者としての資質を養う。						
成 績 評 価 の 方 法						
参加・行動・協調性を評価する。					課 題	20%
					学習意欲	80%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
なし						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. 入学式			4			
2. 遠足			8			
3. 建築見学会			4			
4. 始業式			4			
5. 終業式			4			
6. 防災訓練			2			
7. スポーツフェスティバル			8			
8. その他			56			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2026 年度
時間数は45分換算				D-K11	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
建築構造Ⅱ			講義		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	4	佐藤 行彦
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
地盤、基礎から始まり、鉄筋コンクリート造、鉄骨造に関して、建築の仕事に携わる者として必要な建築的な常識を理解できるようにする。かつ現代社会で注目されている事項や問題を解かりやすく解説していき、社会に出た時、一般ユーザーからの質問に対して、建築を学んだ者としての的確に答えることができるようにしていく。					
授 業 の 概 要					
教科書、2級建築士の過去問題を中心に授業を進めていき、2級建築士試験に備えた学習をしていく。また、現在社会で起こっている建築的な話題や問題を織り交ぜながら、建築知識の幅を広げていく。同時に構造から生まれてくる建築デザインについても考えていく。					
成 績 評 価 の 方 法					
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	80%
				課 題	10%
				学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
改訂版 図説 やさしい構造設計 (学芸出版社) やさしい 建築構造設計 演習問題集 (学芸出版社)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
鉄筋コンクリート構造	時間数			時間数	
1. 鉄筋コンクリートの性質	1	12. 圧縮材		3	
2. セメント・コンクリート	2	13. 梁・柱		3	
3. 梁	6	14. 接合部		5	
4. 柱	6	二次設計			
5. せん断補強	4	15. 二次設計を要する建築物		1	
6. 床スラブ	2	16. 層間変形角		2	
7. 地盤と基礎	7	17. 剛性率		1	
鉄骨構造	3	18. 偏心率		1	
8. 鉄骨構造とは	1	19. 保有水平耐力		2	
9. 鋼材の性質	3				
10. 接合方法	4				
11. 引張材	3				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		建築構造Ⅰ			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード		D-K15	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
建築法規Ⅱ			講義		建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	60	4	栗原 崇		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
建築関連法令集を用いて、法の解釈と実施、実例について詳しく学習する。規則の意義を理解した上で建築設計が行える。また、建築士試験において試験問題が解けるようになる。							
授 業 の 概 要							
建築物は社会的公共性が高く、そこに暮らす人々や近隣環境に大きな影響を与える。そのため公共の利益を守る手段として建築には法的規制がある。そこで、建築設計において検討しなければならない法的ルールについて規制の根拠とその内容について学習する。ここでは用語の定義から始まり、単体規定を中心に学ぶ。							
成 績 評 価 の 方 法							
前期及び後期の試験結果と授業態度等により評価する。						期末試験	80%
						学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
図説 やさしい建築法規 (学芸出版社) 建築基準法関係法令集 (建築資料研究社) 主要法令 [条文] アンダーライン集 (建築資料研究社)							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 用語の定義			2	13. 避難施設 (避難経路)			2
2. 手続 (確認済証の交付等)			2	14. 非常用の避難施設			2
3. 面積・高さの制限			2	15. 構造強度 (構造計算)			2
4. 室内環境と安全			2	16. 構造強度 (構造規定) 木造			2
5. 都市計画区域等の制限			2	17. 構造強度 (壁量計算)			2
6. 面積の制限			2	18. 構造強度 (構造規定)			2
7. 高さの制限			2	19. 基準法その他の規定			2
8. 高さ規制・日影規制			2	20. 建築士法			2
9. 防火地域・準防火地域の建築制限			2	21. 建設業法・消防法			2
10. 防火区画等			2	22. 都市計画法・品確法・バリアフリー法			2
11. 内装制限			2	23. 耐震改修促進法・建築物省エネ法			2
12. 前期まとめ試験			8	24. その他の法律			2
				25. 後期まとめ試験			6
その他				関連科目			
				建築法規Ⅰ			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				D-K17	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
建築製図Ⅱ			講義・演習		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	90	3	佐藤 行彦・大場 房夫
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
公共建築を題材に、その設計や意匠を考察しながら設計計画を行う。さらに、独自の建築を創造し、設計図面を完成させることで、設計業務において建築図面を描くことができる。					
授 業 の 概 要					
公共建築などの大規模建築の設計について学習する。意匠・計画・構造・法規等の条件をクリアし、整合性のある建築を創造する。与えられるテーマや条件により試行錯誤を繰り返し、最適な建築空間を作り上げていくことで、実務に則した技術を修得していく。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題演習および授業態度等を勘案して総合評価する。					課 題 80 % 学習意欲 20 %
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
1 級建築士 新体系テキスト 設計製図 (TAC出版)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		時間数
1. 演習課題の計画・設計の進め方			4		
2. トレース課題			8		
3. 演習課題のエスキース			28		
決定案のCAD図面					
4. 設計概要・配置図・各階平面図・断面図			22		
5. 立面図・CGパース			22		
6. プレゼンテーションと課題の評価			6		
その他				関 連 科 目	
				建築製図Ⅰ	

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2026 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	D-K19
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
建築CADⅡ			講義・演習		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	石崎 哲也	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
CAD設計実務で通用する高い技術力の習得が目標であるため、迅速かつ正確な作図が要求される。ひとつひとつの演習課題について達成目標を持ち、クリアしていくことでCAD 図面を描けるようになる。						
授 業 の 概 要						
建築CADⅠに引き続き、建築CAD技術の習得を目標とする。作図に必要な基本的な操作方法を理解した上で、様々な応用テクニックについても習得する。建築CAD検定2級、准2級の合格を目指す。						
成 績 評 価 の 方 法						
前期は、課題演習（80％）と学習意欲（20％）で評価する。					本 試 験	50%
後期は、検定試験結果（50％）と課題演習（30％）と学習意欲（20％）で評価する。					課 題	30%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
建築CAD検定試験公式ガイドブック（エクスナレッジ）						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			
1. 建築CAD検定試験2級課題について			2			
2. 平面図の描き方			2			
3. 平面図基礎課題演習			8			
4. 立面図の描き方（寄棟屋根）			2			
5. 立面図基礎課題演習（寄棟屋根）			6			
6. （例題1）入母屋屋根の課題			10			
7. （例題2）切妻屋根の課題			10			
8. （例題3）ドーマー付き切妻屋根			10			
9. 過去問演習			40			
その他				関連科目		
				建築CADⅠ		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度
時間数は45分換算					科目コード	D-K21
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
建築プレゼンテーションⅡ			演習		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	大石 沙友里	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
BIM ソフトを使いこなし、プレゼンテーションボードを作成する。 図面の描き方デザインとレイアウト力を身に付け、卒業制作のプレゼンテーションボード作成に活かす。						
授 業 の 概 要						
BIM ソフトの操作方法を習得し、それを利用したプレゼンテーション技法について学習する。見た目に美しく、そしてわかりやすい表現方法を身に付ける。						
成 績 評 価 の 方 法						
課題演習、授業態度等により評価する。					課 題	70%
					学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
自作プリント						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. BIM ソフト (Archicad) の基本			時間数			時間数
2. RC3 階建ビルの BIM モデル作成			2			
2-1. 基本編 02-01～03-03			30			
2-2. 応用編 04-01～04-04						
3. 自由設計の BIM モデル作成			24			
4. プレゼンテーションボードの作成			4			
各図の貼付、大きさの調整、配置						
その他				関連科目		
				建築プレゼンテーションⅠ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				D-K24	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
特別講義Ⅱ			講義		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	4	石崎 哲也
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
建築業界で活躍している生きた情報と知識を正確にキャッチし、実務に役立てる。 建築見学会などを通じて、座学で学んだ知識を深め現場で生かせる人材になる。					
授 業 の 概 要					
建築業に携わる方を招いて実例等を交えた講義を行う。また、各種検定試験の対策授業を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
提出課題、授業態度等により評価する。					課 題 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
演習課題 (自作)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. 建築見学			時間数 10		
各種検定対策					
2. 2級建築施工管理技術検定対策			50		
3. 建築CAD検定試験対策					
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				D-K25	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
卒業制作			演習		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	180	6	大場 房夫・佐藤 行彦 石崎 哲也
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・ 2年間で学んだ知識と技術を活用し、建築計画を総合的に行う。 ・ 自身の計画内容を論理的に記述し、口述発表できる。					
授 業 の 概 要					
個人またはグループ毎に決定したテーマに沿って、2年間の学習のまとめとして建築作品を完成させ、口述発表を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題演習、授業態度等により評価する。					課 題 90% 学習意欲 10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
建築設計資料 (建築資料研究社)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		時間数
1. テーマ・敷地決め			14		
2. エスキス・平面計画の決定			30		
3. 立面図・断面図の作成			30		
4. 外観パース作成			30		
5. 内観パース作成			30		
6. プレゼンボード、パワーポイント、発表原稿作成			40		
7. 中間発表会			3		
8. 最終発表会			3		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2026 年度	
				科目コード		D-K26	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
建築計画Ⅱ			講義・演習		建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	選択 A 選択者必修	60	4	大木 道子		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
建築計画Ⅰの基本的知識をもとに、各用途に応じた計画手法について理解する。また、空間設計をする上で必要な、観察・思考・提案のスキルを鍛える。さらに空間にかかわる人や物の寸法や、動作に必要なスペースである動線計画を理解したうえで、建築設計に反映できるようになる。							
授 業 の 概 要							
住宅（戸建て・マンション）および店舗を題材に、用途ごとの特性を踏まえた内装計画の基礎を学ぶ。							
成 績 評 価 の 方 法							
演習課題の評価点および学習意欲を総合評価し決定する。					課 題	70%	
					学習意欲	30%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
超図解で全部わかるインテリアデザイン入門（エクスナレッジ）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数			時間数	
1. 空間デザイン思考の基礎と演習			6				
2. 住宅_内装計画の基本と演習			12				
3. 店舗_内装計画の基本と演習			8				
4. 店舗_内装計画演習①			16				
5. 店舗_内装計画演習②			18				
その他				関連科目			
				建築計画Ⅰ			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				D-K27	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
環境工学			講義・演習		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択 A 選択者必修	30	2	石崎 哲也
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
居住空間の快適性能に室内気候の諸条件を対応させ、各々の数値で判定・制御する。採光、換気、防音、断熱等について理解し、建築士試験において環境分野の問題が解けるようになる。					
授 業 の 概 要					
採光、換気、断熱、防音、音響など人間の心身に影響を及ぼす室内環境の快適性について学習する。自然科学の理論を用い、個々の建築環境を検討・評価できる能力を養う。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題演習、授業態度等により評価する。					課 題 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
建築実習 1 (実教出版)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. 建築環境について			2		
2. 照度分布の測定			5		
3. 昼光率の測定			5		
4. 騒音測定			5		
5. 明瞭度試験			5		
6. 有効温度の測定			5		
7. まとめ			3		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				D-K28	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
構造力学Ⅱ			講義		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択 A 選択者必修	60	4	石崎 哲也
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
構造力学について十分に理解し、安全な建物の設計に役立てることが大切である。目に見えない力を図式化することで視覚的に力を捉え、建築士試験の構造分野の問題が解ける。					
授 業 の 概 要					
構造力学Ⅰに引き続き、静定構造物の応力算定について理解を深める。その後、建築部材の断面特性について学習し、構造物に作用する力の種類と、その力に抵抗する断面算定について学ぶ。また、建築構造設計において検討すべき許容応力度設計についても演習を通して学習する。					
成 績 評 価 の 方 法					
前期及び後期の試験結果と課題演習、授業態度等により評価する。					期末試験 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
図説 やさしい構造力学 (学芸出版社) 2級建築施工管理技士 一次対策問題解説集 (日建学院)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. 反力計算			6		
2. 許容応力図			6		
3. 曲げモーメント			6		
4. トラス			6		
5. 断面1次モーメント			6		
6. 断面2次モーメント・断面係数			6		
7. 座屈			6		
8. たわみ			6		
9. 静定構造物の崩壊と全塑性モーメント			6		
10. 不静定ラーメンの崩壊と保有水平耐力			6		
その他				関連科目	
				構造力学Ⅰ	

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度
時間数は45分換算					科目コード	D-K29
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
建築材料学			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	選択 A 選択者必修	60	4	小林 良行	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
建築物には様々な材料が使用されており、そのひとつひとつに長所や短所がある。その特性を理解するし、建築物に適切に使用できるようにする。						
授 業 の 概 要						
金属、石、ガラスなどの各種建築材料の種類と特徴を理解することで、適材適所な利用方法を習得する。またそれらの施工方法についても学習する						
成 績 評 価 の 方 法						
試験結果と課題演習および授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験	40%
					課 題	40%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
配付プリント						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. 木材、石材、タイル、土、塗り床・壁、 金属、下地材、断熱材、壁紙、天然素材、 造作材、建具、			時間数	時間数		
2. 試験			28			
3. 内部・外部仕上げ表作成			2			
4. 特記仕様書作成			15			
			15			
その他				関連科目		

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2026 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	D-K30
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース		
建築施工Ⅱ			講義	建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	選択 A 選択者必修	60	4	石崎 哲也	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
建築躯体工事から各種仕上げ工事について、その種別と工法、関連規則を把握する。また品質管理や安全管理も現場管理には重要な項目であり、建築士試験の問題が解けるようになる。						
授 業 の 概 要						
建築施工Ⅰに引き続き、建築工事種別ごとに学習を進める。ここではさらに各工事の管理法について学ぶ。建築生産、施工計画、工程管理、原価管理、安全衛生管理など現場管理者として重要である知識を習得する。						
成 績 評 価 の 方 法						
前期は、期末試験（80％）と学習意欲（20％）で評価する。 後期は、検定試験結果（80％）と学習意欲（20％）で評価する。					試 験	80％
					学習意欲	20％
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
2級建築施工管理技士 一次対策テキスト（日建学院） 2級建築施工管理技士 一次対策問題解説集（日建学院）						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数	時間数		
1. 鉄筋工事			6			
2. 型枠工事			5			
3. コンクリート工事			10			
4. 鉄骨工事			9			
2級建築施工管理技士試験対策						
5. 建築学			6			
6. 共通分野			6			
7. 建築関連法規			6			
8. 施工管理法			6			
9. 建築施工			6			
その他				関連科目		
				建築施工Ⅰ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				D-K31	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
環境工学			講義		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択 B 選択者必修	30	2	石崎 哲也
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
居住空間の快適性能に室内気候の諸条件を対応させ、各々の数値で判定・制御する。採光、換気、防音、断熱等について理解し、建築士試験において環境分野の問題が解けるようになる。					
授 業 の 概 要					
採光、換気、断熱、防音、音響など人間の心身に影響を及ぼす室内環境の快適性について学習する。自然科学の理論を用い、個々の建築環境を検討・評価できる能力を養う。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題演習、授業態度等により評価する。				課 題	80%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
建築実習 1 (実教出版)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. 建築環境について			2		
2. 照度分布の測定			5		
3. 昼光率の測定			5		
4. 騒音測定			5		
5. 明瞭度試験			5		
6. 有効温度の測定			5		
7. まとめ			3		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度
時間数は45分換算					科目コード	D-K32
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
建築材料学			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	選択 B 選択者必修	60	4	小林 良行	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
建築物には様々な材料が使用されており、そのひとつひとつに長所や短所がある。その特性を理解するし、建築物に適切に使用できるようにする。						
授 業 の 概 要						
金属、石、ガラスなどの各種建築材料の種類と特徴を理解することで、適材適所な利用方法を習得する。またそれらの施工方法についても学習する						
成 績 評 価 の 方 法						
試験結果と課題演習および授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験	40%
					課 題	40%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
配付プリント						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. 木材、石材、タイル、土、塗り床・壁、 金属、下地材、断熱材、壁紙、天然素材、 造作材、建具、			時間数 28			
2. 試験			2			
3. 内部・外部仕上げ表作成			15			
4. 特記仕様書作成			15			
その他				関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2026 年度	
				科目コード		D-K33	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
建築施工Ⅱ			講義		建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	選択 B 選択者必修	60	4	石崎 哲也		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
建築躯体工事から各種仕上げ工事について、その種別と工法、関連規則を把握する。また品質管理や安全管理も現場管理には重要な項目であり、建築士試験の問題が解けるようになる。							
授 業 の 概 要							
建築施工Ⅰに引き続き、建築工事種別ごとに学習を進める。ここではさらに各工事の管理法について学ぶ。建築生産、施工計画、工程管理、原価管理、安全衛生管理など現場管理者として重要である知識を習得する。							
成 績 評 価 の 方 法							
前期は、期末試験（80％）と学習意欲（20％）で評価する。 後期は、検定試験結果（80％）と学習意欲（20％）で評価する。					試 験	80%	
					学習意欲	20%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
2級建築施工管理技士 一次対策テキスト（日建学院） 2級建築施工管理技士 一次対策問題解説集（日建学院）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
10-1:木材 10-2:各工法			時間数	(2級施行管理技士試験対策)		時間数	
11:各防水工事と屋根工事			4	2級施行管理技士過去問題演習		12	
12:左官・タイル・石工事			10	2級施工管理技士過去問題解説		12	
13:ガラス工事			4				
14:内装・断熱工事			2				
15:塗装工事			6				
16:外装工事			4				
17:設備工事工			4				
			2				
その他				関連科目			
				建築施工Ⅰ			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度	
時間数は45分換算					科目コード	D-K34	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
施工技術実習			演習		建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	選択 B 選択者必修	60	2	石崎 哲也		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
施工管理者と成るためには、技術・技能だけでなく、安全で効率のよい現場管理能力が要求される。測量実習および現場見学を通して現場管理技術者としての知識を習得し、測量機器の取り扱いができるようになる。							
授 業 の 概 要							
建築施工管理に必要な建築工事の概論、施工計画、測量、仮設工事、躯体工事及び安全管理等について基本的な知識の習得と測量実習を通して技能習得をする。							
成 績 評 価 の 方 法							
演習・実習、授業態度等により評価する。					課 題	80%	
					学習意欲	20%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
建築実習（実教出版）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 施工管理の流れと手順 2. 平板測量 3. トランシット測量 4. レベル（水準）測量			時間数				時間数
			5				
			15				
			20				
			20				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度
時間数は45分換算					科目コード	D-K35
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
施工管理			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	選択 B 選択者必修	60	4	石崎 哲也	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
施工管理試験に出題される建築学、各種工事、施工管理法、関連法規等について、演習問題を実施しながら全体を関連付けて学習していく。2級建築施工管理技術検定試験の問題が解けるようになる。						
授 業 の 概 要						
国家資格である2級建築施工管理技術検定試験（学科）合格を目標に、施工管理者として必要な知識を習得する。特に施工管理法について重点的に学習する。						
成 績 評 価 の 方 法						
前期は、期末試験（80％）と学習意欲（20％）で評価する。 後期は、検定試験結果（80％）と学習意欲（20％）で評価する。					試 験	80%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
「2級建築施工管理技士 要点テキスト」（市ヶ谷出版社）						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
建築施工施工管理技術検定			時間数	時間数		
1. 過去問演習 基本			25			
2. 模擬試験			4			
3. 過去問演習 応用			25			
4. 本試験（11月）			6			
その他				関連科目		
2級建築施工管理技術検定試験（第一次検定）を受験する。				建築施工Ⅰ・Ⅱ		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度	
時間数は45分換算					科目コード	D-K36	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
建築色彩			講義		建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	選択C 選択者必修	60	4	落合 里美		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
色の基本として、表現方法から色彩調和論、色がもたらす心理的效果などを学んだ上で、建築空間における色彩計画を実践する。また、色彩検定3級の基礎知識を習得し、試験問題が解けるようになる。							
授 業 の 概 要							
「心地よい空間」を認識するための情報源の80%以上が視覚から取り込まれ、その情報のほとんどが「色」によって発せられる。このように建築デザインにおいて色彩は欠くことのできない要素であり、その理論と配色方法を学ぶことが快適な住環境を計画するための第一歩である。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題評価、授業態度等を勘案して総合的に評価する。					課 題	80%	
					学習意欲	20%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
色彩検定公式テキスト3級 「新配色カード199b」(日本色研事業株式会社)							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 色彩の基礎 (色彩検定3級に対応) 色のしくみ (色の三属性、トーン)、色名、色の感情効果、色の見え (色の対比、同化、面積効果他)、配色技法、混色理論、光と色、目のしくみ、色彩構成、ファッション・インテリアの色彩			時間数 30	4. 照明計画 光源の種類、色温度、照明の効果、光のプレゼンテーション			時間数 6
2. インテリアエレメント ウィンドウトリートメントの種類、家具の歴史、照明器具のスタイル			8	5. インテリアのイメージ クラシック、ナチュラル、カジュアル、モダンなど代表的なイメージの特徴			10
3. 家具のレイアウト 人間工学、家具の寸法と生活に必要な寸法			6				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2026 年度		
				科目コード		D-K37		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
インテリア計画			講義		建築科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	通年	選択 C 選択者必修	120	8	大畑 理江			
授業の目的・到達目標								
インテリアに係わる内容を習得し、実際の職務において目的に応じた計画立案ができるようにする。最終目標は、インテリアコーディネーター2次試験合格のレベルとする。								
授 業 の 概 要								
インテリア製図を通して、住宅だけでなく建築物全般のインテリア計画論・表現方法について学習する。新築・リフォーム例を交えながらその概念や手法について学ぶことで、必要な知識を習得する。また、単元毎の理解度を高めるため状況に応じて小テストを課し、内容の定着を図る。								
成 績 評 価 の 方 法								
複数の課題の提出状況・小テスト結果、学習意欲（資格取得）、授業態度等を勘案して総合的に評価する。					課題・テスト	80%		
					学習意欲	10%		
					授業態度	10%		
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材								
はじめてのインテリア製図 合格する図面の描き方（第4版）（ハウジングエージェンシー出版局）								
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画								
1. インテリア製図概論 製図のルール			時間数	8	6. インテリア計画（2） 私室（寝室）計画		時間数	16
2. インテリア製図（1） 設計図書について・平面図				16	7. インテリア計画（3） パブリックスペース・水回り計画			8
3. インテリア製図（2） 展開図・アイソメ(アクソメ)・パース				16	8. インテリア表現 着彩・プレゼン			16
4. インテリア製図（3） 仕上表・建具表				8	9. その他の図面 電気配線図・給排水図ほか			8
5. インテリア計画（1） 人体寸法・材料、LDK 計画				16	10. まとめ 店舗・事務所・施設など			8
その他				関連科目				

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度	
時間数は45分換算					科目コード	D-K38	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
住環境計画			講義		建築科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	選択C 選択者必修	90	6	石崎 哲也		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
住環境について、幼児や高齢者だけでなくすべての人に優しい空間作りについて理解する。 また、福祉住環境コーディネーター資格の試験問題が解けるようになる。							
授 業 の 概 要							
建築物において子供や高齢者、身障者は何かしらの不便を感じていることが多い。そこでこれらの問題を意識し、改善していこうという運動であるユニバーサルデザインについて学習する。							
成 績 評 価 の 方 法							
資格取得及び課題評価、授業態度等を勘案して総合的に評価する。					本 試 験	80%	
					課 題	10%	
					学習意欲	10%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
福祉住環境コーディネーター検定試験 2級 公式テキスト (東京商工会議所)							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義			時間数	5. 福祉住環境整備の基本技術および実践に伴う知識			時間数
2. 障害のとらえ方と自立支援のあり方			15	6. 在宅生活における福祉用具の活用事例集			15
3. 疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方			15				
4. 相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方			15				
その他				関連科目			